

研究テーマ	生徒ひとりひとりが主体的に造形活動に取り組み、自分の表現方法を創意工夫して表現していこうとする意欲を高める指導の工夫 — 中学3年「篆刻～色紙絵～額装」の一連の制作の実践を通して —
-------	--

銚田市立銚田北中学校 教諭 田山 立子

## I 研究テーマについて

「中学校学習指導要領解説美術編 第3章 第2節第2学年第3学年の目標（2）」に「対象を深く見詰め感じる力や想像力を一層深め、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する能力を伸ばす。」とある。自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する能力を伸ばすとは、表現意図に応じて様々な技能を応用したり、工夫を繰り返して自分の表現方法を見つけ出して、さらに美しい面白い表現を創出する技能を伸ばすことである。そこで、題材間に関連性を持たせて制作させていくことで、一つ一つの作品制作に主体的に取り組み、自分の表現方法を追求しながら創意工夫して表現しようとする意欲が高まるのではないかと思いこのテーマを設定した。

## II 研究の実際

### 1 題材名 色紙額の制作

#### 2 題材の目標

- 自分の構想に応じて、必要な用具や制作の手順を考えながら主体的に額の制作をしようとする。  
(美術への関心・意欲・態度)
- 額装の意味を知り、自分だけの額の構想を練ることができる。  
(発想や構想の能力)
- 自分の構想に応じて、必要な用具や制作の手順を考えながら主体的に額の制作をすることができる。  
(創造的な技能)
- 自分や友達の作品のよさや工夫されているところを感じ取ることができる。  
(鑑賞の能力)

#### 3 題材について

(1) 生徒の実態（平成28年9月3日調査 行方市立玉造中学校3年1組30名）

設 問	回 答
1 彫刻の学習は好きですか。	はい 26人 いいえ 4人
2 絵画、デザイン、彫刻、鑑賞の中で1番好きな活動はどれですか。	絵画10人 デザイン8人 彫刻8人 鑑賞4人
3 色紙額を作る上で大切なことは何だと思いますか。	シンプル1人 色紙とのバランス1人 絵にあっていない2人 色合い1人 (他は安全性や制作するときの心構えなどを回答)
4 色紙額をどの工程で作りたいですか。	ア 彫刻+着色7人 イ 彫刻のみ5人 ウ 線彫り+絵画・デザイン6人 エ 絵画・デザインのみ12人
5 4を選んだ理由	・シンプルでよい・華やかにしたい・やりやすい ・立体感を出して迫力を付けたい・好きだから ・絵に合う・彫刻が得意ではない ・気に入ったデザインがある ・額らしい

アンケート結果から、本学級の生徒は「額装」の意味や目的をあまり分かっていない生徒がほとんどであるが、自分の絵を飾る額の制作に対する思いや意欲は感じられる。木彫は2年生の時に「レリーフによる壁飾りを作ろう」で行っているため彫刻に対する嫌悪感をもっている生徒はあまりいないが、絵画・デザインを好む生徒が多い。

(2) 題材観

市販の色紙額（木製）を使用して，自分だけの額を制作する題材である。これまで制作してきた色紙絵（落款押印）を飾るための額を自分のやりたい表現方法を選択して制作することにより，一層自主的に制作に取り組むことができると思う。また，作品への愛着や制作後の達成感を味わわせたい。

(3) 指導観

1学期に篆刻を行い，次に色紙絵の制作を行ってきた。そして，それらを飾る額の制作に取り掛かる。自分の描いた色紙絵に合うようにするか。どんな絵にも合うようにデザインするかを考えさせたり，絵画・デザイン・彫刻の表現方法を選択させたりする。そして，同じ活動をする友達同士でアドバイスしながら制作させていきたい。

4 題材の評価規準

関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な時能	鑑賞の能力
・主題などを基に，主体的に創造的な構成を工夫して構想を練ったり，材料や用具，表現方法の特性などから制作の順序などを主体的に考えたりして，表現しようとしている。	・額装の意味や目的などを基に，美的感覚を働かせて形や色彩，材料の組み合わせや，表現方法を選択しながら，表現の構想を練っている。	・材料や用具の特性を生かし，表したいイメージをもちながら自分の表現意図に合う新たな表現方法を工夫するなどして創造的に表現している。	・自他の作品の造形的なよさや美しさ，創造的な表現の工夫などを感じ取り味わったり，生活を美しく豊かにする美術の働きなどについて理解や見方を深めたりする。

5 指導と評価の計画（8時間扱い）

時間	学習内容・活動	評価規準・【評価方法】
第1次 ②	額装の意味や目的を知り，自分の絵を飾るための額の構想を練る。 (本時)	・額装の意味を知り，自分だけの額の構想を練ることができる。 【想】【ワークシート】
	額のアイディアスケッチをする。	・ワークシートに額のアイディアスケッチをすることができる。 【想】【ワークシート】
第2次 ⑤	自分の表現方法を工夫しながら額の制作をする。	・自分の構想に応じて，必要な用具や制作の手順を考えながら主体的に額の制作することができる。 【関】【観察】【創】【作品】
第3次 ①	飾られた作品を相互鑑賞して，自分や友達の仕事のよさや工夫されているところを感じ取る。	・自分や友達の仕事のよさや工夫されているところを感じ取ることができる。 【鑑】【鑑賞カード】

6 指導の実際

(1) 目標

- 額装の意味を知り，自分だけの額の構想を練ることができる。(発想、構想の能力)

(2) 準備・資料

額見本 色紙 額下書き用シート カーボン紙 計画書 墨

(3) 展 開

☆十分満足できる生徒への援助

★努力を要する生徒への援助

学習活動・内容	教師の援助・評価( 評 ) は評価規準・方法)
<p>1 本時の学習の内容を確認する。 額装の意味を知り、自分だけの額の構想を練る。</p> <p>2 額装をすることの意味(目的)について考える。 (1) 額に入っていない絵と額に入っている絵を鑑賞する。 ・額に入れると絵が良く見えるね。 ・額と絵があっていないような。 (2) 市販の額と手作りの額を見て手作りのよさを考える。 ・市販の額はシンプル。 ・手作りだと自分の絵に会うように作れる。 (3) 額装する意味について分かったことを計画書に書く。</p> <p>3 自分の額の構想を練る。 (1) 方法を考える。 ①全体を彫刻 ②全体彫刻＋着色 ③部分彫刻＋着色 ④絵・デザイン</p> <p>(2) アイディアスケッチをする。 ・計画書にアイディアが描けたら下書き用のシートに描く。 ・これ彫れるかな。 ・どれが一番簡単。</p> <p>4 計画書に今日の自己評価と次時の活動内容を書く。 片づけをする。</p>	<p>・今日は、色紙絵が終わってなくても次の額装について学習することを連絡する。色紙絵の続きは額のアイディアができたならやっているとす。</p> <p>・額に入っていない絵と入っている絵を見せて、感じたことを発表させる。 ・額装した方が絵がよりよく見えてくることに気づかせる。</p> <p>・市販の額と手作りの額を見せて、色やデザインについて、それぞれのよさを発表させる。 ・市販の額は、たて横どちらの作品でも対応できるようになっていることに気づかせる。 ・額装することの意味についてまとめ、制作への意欲づけとする。</p> <p>評 額装の意味を知ることができたか。(計画書)</p> <p>・制作時間を考えて①や④が簡単すぎず難しすぎないように計画をさせる。 ☆彫刻する生徒には、昨年制作した浮き彫りの方法を想起させて、時間の短縮化を助言する。 ★一色で着色を考えている生徒には、マスキングテープを活用したり、モダンテクニックなどの技法を使わせたりして自分だけのものにこだわるように助言する。</p> <p>・アイディアが描けたら、近くの友達にアドバイスをもらうように指示する。 ★額が終わっている生徒には、木彫以外でどんな額装が考えられるかを考えさせる。または、金具付けをして絵とあっているか確かめさせる。 ★色紙絵ができていないと進められない生徒には絵の下書きをもとにして考えさせていく。</p> <p>評 自分だけの額の構想を練ることができたか。</p> <p>想 【アイディアスケッチ】</p> <p>・額装の意味について再確認をしてまとめとする。</p>

#### (4) 活動の様子



(彫刻のみ)

- ・模様を浮き彫りして、全体も彫刻している。
- ・デザインは、たて横どちらの作品を入れてもよいようにシンメトリーにした。
- ・細い線の部分は慎重に作業した。



(彫刻+着色)

- ・全体にリピテーションのデザインでレリーフした。
- ・色は華やかに金色にした。
- ・どんな絵や書にも合いそう。



(彫刻+焼き)

- ・線彫りしたあとにバーナーであぶる。
- ・焼き色が綺麗。木目も綺麗に浮き上がる。



(絵画・デザイン)

- ・空想画を描いて。
- ・リボンのイラストを描いてプレゼントのようにした。
- ・額にもスパッタリングをして。



- ・和紙を色とりどりにちぎって貼って。
- ・英字新聞をコラージュして。
- ・文字の並びを変えるときれいだね。



### III 研究の成果と課題

#### 1 成果

(生徒の感想から「篆刻」「色紙絵」「額」の一連の制作について) 平成28年12月

- ・篆刻はもっと深く掘ればよかった。雑になってしまう部分もあったので丁寧に行えばよかった。色紙絵はパステルで着色して楽しかった。額は友達と頑張って作り、友達の重ねる色のセンスがすてきだった。
- ・すべての制作をして1つの作品ができあがった時、達成感があり楽しかったと思った。
- ・とても楽しかった。美術っていいなと思いました。
- ・自分なりに全部よかったです。色紙絵は色の薄い濃いところを分けて色鮮やかさを出しました。
- ・篆刻は難しかったけどイメージ通りにできて石を削るのが楽しかった。
- ・上手く工夫できたと思う。
- ・額は色紙絵と合うデザインになるように工夫した。
- ・難しいところもあったけど楽しかった。
- ・どの制作も個性が出てよいと思う。
- ・墨絵を描いて、額まで自分で考えて楽しかった。

- ・篆刻はいつも以上に丁寧にできて満足している。墨絵は自分がデザインしたとおりにできてよかった。額もきれいにできた。3つの作業が1つの作品となったので達成感がある。
- ・篆刻は上手くできたが色紙はもっと味のある作品を作りたいかった。
- ・自分で作ったものをすべてコラボされるのがすごく達成感がわきとても楽しい。自分で作成したものはすごく思い入れもあるし買ったものよりも愛着もわく。

生徒の感想から、自分の作品を飾る額を作ることにより、その前の作品制作にも自分なりの作品を作ることこだわって制作していたことがわかった。また、飾ることにおいても自主的にパネルに展示する生徒が多かった。展示の仕方にもこだわっていた生徒もいた。中には、おばあさんの部屋に飾ることを想定して色や形を考えて作った生徒もいた。

最終的に「飾る」という目的の下で制作をすることにより自分なりの作品を作ろうとする意欲が高まったように思う。また、できたという充実感や達成感を味わわせることにつながったと思う。

また、今年度は2年生でモダンテクニックの作品を飾る額を作った。作品に対して自信が持てず、飾ることが嫌いな生徒が多いが、額装することに対して、「特別な感じがする。」「額装する機会がないから良い」「中の絵を引き出せてとてもいい」「作品への思いや作品の感じが良くなる」と意欲的に制作を行った。

## 2 課題

- ・今回の額の素材は市販の木枠を使用した。色紙絵を飾るのは額だけに限らず掛け軸であったり、自然物を使ったり、他の素材も考えることができたと思う。選択肢を増やしても良かったように思う。
- ・作品完成後の展示の仕方や鑑賞会の在り方をさらに研究していきたい。

(生徒作品)

篆刻



色紙絵 (墨絵)



(モダンテクニック)



額装







展示



※参考文献

「中学校学習指導要領解説 美術編」文部科学省